

# To Our Shareholders

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、誠に有難く、厚くお礼申し上げます。ここに当社第20期中間期(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)の営業概況をご報告させていただきますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

### 経営成績

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、輸出の拡大に伴い、設備投資の増加や企業収益の回復により、景気は堅調に推移いたしました。

食品業界におきましては、消費税総額表示の影響により、一時的に消費が低迷するとともに販売価格の下落により、厳しい状況で推移いたしました。

また、外食業界におきましても、7月までは景気の拡大に伴い回復基調で推移いたしましたが、8月後半からの相次ぐ台風上陸など天候不順により売上が減少するなど、激しい変動が見られました。

このような状況の中で、当社グループでは、食品事業においては、エリア別販売戦略の強化を図り、レストラン事業及びミオミオ事業においては、積極的なメニュー開発及び店舗のスクラップ&ビルドに取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結売上高は52億3百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は4億85百万円(前年同期比4.8%増)、経常利益は4億48百万円(前年同期比6.5%増)となり、増収増益を果たすことができました。一方、固定資産減損会計の早期適用による減損損失12億69百万円及び連結子会社(PIETRO SEOUL Co., Ltd.)における貸倒引当金繰入額1億37百万円等の特別損失15億48百万円を計上した結果、中間純損失7億38百万円となりました。

### 通期の見通し

今後のわが国の経済は、緩やかな景気回復基調で推移するものと思われれます。

このような状況のもと、当社グループは、平成16年12月9日に創業25周年目を迎えます。これを機に、気持ちを新たに、創業の原点に返り、「美味しいもの作り」と「楽しい食べ方の提案」に努めてまいります。

平成17年3月期連結業績予想につきましては、平成16年10月8日公表のとおり、売上高101億44百万円(前期比1.2%増)、営業利益7億13百万円(前期比1.2%増)、経常利益6億34百万円(前期比3.5%増)と増収増益の見込みですが、減損損失等の特別損失計上により、当期損益段階では、当期純損失7億6百万円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。



平成16年12月

代表取締役社長 **村田邦彦**

